

第9回「共生のひろば」受賞者

口頭発表

館長賞

- OP-12 モンカゲロウ成虫が上流方向へ飛行するしくみに関する研究
藤原瑞穂・西 幸夏・原田祐矢・久後地平（顧問）・後藤悦子（顧問）
（兵庫県立香寺高等学校自然科学部）

名誉館長賞

- OP-06 天然酵母の探索と活用に関する研究～サルビアの花酵母を利用した日本酒醸造と地域産業への貢献～
山本英里子・橋本将豪・西上福人・鷓山葉摘・久保田興平・福田眞子
今村耕平・藤本千夏（兵庫県立農業高等学校 生物工学科花酵母研究会）
- OP-01 恐竜化石とフィールドワークを重視した6年生理科「大地のつくり」の実践
岸本清明（ひとはく地域研究員） 神田英昭（加東市立三草小学校）

兵庫県立大学 学長賞

- OP-11 石屋川のプラナリアの謎を解く ～2年生環境科学セミナーからの知見～
鮫島葉奈子・本田陽香・劉 奏恵・石田初音・竹内晃希・大松亜衣・吉川愛恵
（兵庫県立御影高等学校 GS 環境科学セミナー選抜者）

審査員特別賞

- OP-13 時計の歴史
松田百花（伊丹市立天神川小学校）
- OP-13 船は鉄の塊なのになぜ海に浮くのか
島田紘也（伊丹市立池尻小学校）

ポスター発表

館長賞

- PP-05 芦屋市の公園で観察したアリたち
増井啓治（ひとはく地域研究員）
- PP-16 解明 なぜヒシモドキは絶滅するのか ヒシとヒシモドキの生存戦略の違い
藤保 健・餅井百香・渡邊健太郎・吉村真由・田村 統（顧問）
（兵庫県立大学附属高等学校自然科学部生物班）

名誉館長賞

- PP-08 “水馬の卵”見たことありますか
森本静子（ひとはく地域研究員・NPO 法人シニア自然大学校水生生物科）
- PP-31 「家族でぶらっと六甲散歩」の推進
堂馬英二（六甲山を活用する会）
- PP-22 山陰ジオパークの地形と石と砂
松原 勝（石ころクラブ）
- PP-33 ホトケドジョウ生息地の再生
山科ゆみ子（丹波地域のホトケドジョウを守る会）

兵庫県立大学 学長賞

PP-13 淡路島の和泉層群から産出する脊椎動物化石

岸本眞五（ひとはく地域研究員）

PP-30 体感！キノコから見た多様性～六甲山再度公園のキノコの出現傾向から探る

石田初音・仁藤湧也・長田祐基・魚谷和秀・石丸明日菜・鶴岡脩真・

小野高滉・河合祐介（顧問）（兵庫県立御影高等学校環境科学部生物班）

審査員特別賞

PP-01 ひとはく周辺にみられる伝統民家～摂丹型民家～について

- 里それぞれの住まいと風景の伝承を考える -

山崎敏昭

（ひとはく地域研究員・兵庫県立大学大学院環境人間学研究科共生博物部門OB）

編集後記

第9回「共生のひろば」の口頭・ポスター・作品発表の数は50を越えました。活動テーマも活動方法もまちまち、おまけに50以上の年齢差があるのに、お互いの発表を集中して聞いていられるのだろうか？またそれぞれの活動の質を高めるための、また新たな切り口での展開にあたっての、ヒントをお互いに得ることは可能なのだろうか？・・・結果はみなさんの評価にお任せしますが、多くの方がまだまだ時間不足・交流不足という思いを持って会場を後にされたのではないのでしょうか。私自身の感想では、学問分野や対象・レベルを絞って発表・意見交換される既存のどんな学会よりも不思議に退屈しない「ひろば」であったと感じています。この不思議な感覚は第1回の時と少しも変わっていません。

(人と自然の博物館共生のひろば 担当 田中哲夫)